

『きらきらぼうし』

2年 鈴木 郁香さん



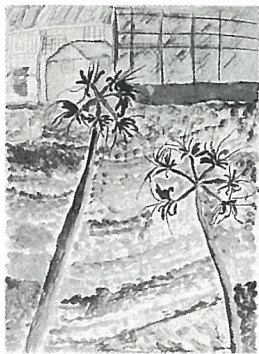
※きらきら光る  
すてきなぼうし  
がでましまし  
た。花かざり  
がむすかしが  
つたです。

『大好きなお友達  
～字が上手な憲一君～』

1年 竹内 翔太くん



※憲一くんは、  
字がとても上  
手でていねい  
です。ほくの  
大好きなお友  
だちです。



『緑の中のひがん花』



5年 福嶺 駿介くん

※ひがん花を中  
心に、校庭の  
風景をかきま  
した。特にく  
きの色を工夫  
しました。

あつまれ みんなの 力作

道しるべ

行方真奈美

友だち

石橋颯一郎



4年 行方真奈美さん

※「道」のしんに  
ゆうが上手に  
書けなくて何  
回も何回も練  
習しました。



3年 石橋颯一郎くん

※一番かんばつ  
たことは「ち  
」の字です。む  
すかしかった  
ですががんば  
りました。



6年 川崎友里恵さん



『きつねの窓』

※指で作った窓  
にうつったき  
つねの姿を版  
画にしました。  
色を出すのが  
大変でした。



評者詠  
体調の上向く兆し年明くる

初売の幟も午年元氣良  
川島 通則 (二又)

分けて飲む風邪の子防に玉子酒  
大谷 武彦 (木戸)

水平線黙の刻あり初日影  
布施喜美雄 (二又)

しきたりの餅花咲かせ願いごと  
大木 静水 (篠本)

年男譲りて久し老けにけり  
伊藤 定男 (尾垂)

片言の御慶の孫を膝に置く  
幼子が小さな膝を揃え舌足らずで  
新年の挨拶をした。正月にふさわ  
しい家庭の風景である

鶏鳴の初東雲へしみ渡る  
土屋 義昭 (虫生)

元旦の明け方、シーンと張りつめ  
た空へ鶏の声がしみ渡る清新で清  
々しい一瞬を詠む

兄も亦逝きて侘しき除夜の鐘  
今年の後半は何かと凶事が重なり  
百八の煩惱を消す除夜の鐘も俄に  
心のおりは去らず

越川せつ子 (篠本)

ひかり俳壇

